

東証1万円割れ



電子速報版

2008年10月7日(火)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町二丁目五番

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2008
Yamagata Shimbu

山形新聞ホームページ

web <http://yamagata-np.jp>

携帯 <http://yamagata-np.jp/k/>

購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

4年10カ月ぶり安値

下げ幅一時550円超

七日午前の東京株式市場は、前日の米ニューヨーク株式市場でダウ工業株三十種平均が一万ドルを割り、下げ幅が一時八〇〇ドル超安と史上最大を記録したことや急激な円高を受けて全面安の展開となり、日経平均株価(225種)は急落、二〇〇三年十二月以来約四年十カ月ぶりに一時一万円の大台を割り込んだ。一時、前日比五五六円八八銭安の九九一六円二二銭まで下げ幅を広げた。

前日の欧州株式市場でもロンドンFT百種株価指数が、一九八七年のブラックマンデー以降最大の下落幅となるなど、軒並み大幅安。ロシアの株式市場も急落した。世界的な株安の連鎖が实体经济に深刻な影響を与えそうだ。

外国為替市場では、米欧の金融危機を背景に円がドルとユーロに対して

買われ、ドルは「ドル」一〇一円台半ば、ユーロは一ユーロ一三七円台前半と、急速な円高が進んだ。

平均株価は、午前十時現在は前日比三七五円九〇銭安の一万〇〇九七円一九銭と、やや下げ続けた。全銘柄の値動きを示す東証株価指数も三八・七四ポイント安の九六〇・三一。

市場では米国発の金融危機に歯止めがかからず、世界的な景気後退を招き、日本経済にも深刻な打撃が避けられないとの懸念が強まった。株価下落で企業や消費者の心理が冷え込むのは必至。景気が一段と悪化し、さらに株価が下落する悪循環に陥る恐れも出てきた。

外国為替市場で円高ドル安が進行したことも追い打ちをかけ、取引開始直後から自動車、電機などの輸出関連株、銀行、不動産などの内需関連株とも軒並み売り注文が相次ぎ全面安となった。

市場では「悪材料は尽きず、平均株価の下値のめどは見えない」(外資系証券)との悲観的な声も出ている。



1万円割れした日経平均株価を示す証券会社のボード
「7日午前9時19分、東京・八重洲